

明治四年十一月刻

語彙活語指掌

編輯寮

活語指掌

言語のなほなほをこころよあつらあり其の詞の活用と辭の

運用となり詞と云ふにあつらあり又あひ

あひあひのまはらるるなほのあひとあひの接きさきとあつらして接けさあ

あひあひのまはらるるなほのあひとあひの接きさきとあつらして接けさあ

あひあひのまはらるるなほのあひとあひの接きさきとあつらして接けさあ

あひあひのまはらるるなほのあひとあひの接きさきとあつらして接けさあ

あひあひのまはらるるなほのあひとあひの接きさきとあつらして接けさあ

あひあひのまはらるるなほのあひとあひの接きさきとあつらして接けさあ

あひあひのまはらるるなほのあひとあひの接きさきとあつらして接けさあ

五言景古語指掌

門未利2
5

第三

中二段活用

本書活語の下キキルキレなごるたる即

将居	将射	将見	将干
あむ	ひむ	みむ	ひむ
居	射	見	干
あむ	ひむ	みむ	ひむ
居	射	見	干
あむ	ひむ	みむ	ひむ

将恨	将戀	将落	将起
うらむ	こむ	おむ	おむ
恨	戀	落	起
うらむ	こむ	おむ	おむ
恨	戀	落	起
うらむ	こむ	おむ	おむ

ミ	ヒ	チ	キ
ム	フ	ツ	ク
ムル	フル	ツル	クル
ムン	フレ	ツレ	クレ

キ	イ	ミ	ヒ
キル	イル	ミル	ヒル
キレ	イレ	ミレ	ヒレ

第四

下二段活用

本書活語の下キククルクレなごるたる即

将得	将受	将瘦	将捨	将寝	将添
えむ	うむ	やむ	まむ	ねむ	そむ
得	受	瘦	捨	寝	添
えむ	うむ	やむ	まむ	ねむ	そむ
得	受	瘦	捨	寝	添
えむ	うむ	やむ	まむ	ねむ	そむ

リ	イ
ル	ユ
ル	ユル
ル	ユレ

将得	将受	将瘦	将捨	将寝	将添
えむ	うむ	やむ	まむ	ねむ	そむ
得	受	瘦	捨	寝	添
えむ	うむ	やむ	まむ	ねむ	そむ
得	受	瘦	捨	寝	添
えむ	うむ	やむ	まむ	ねむ	そむ

エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ
ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ
ウル	クル	スル	ツル	ヌル	フル
ウレ	クレ	スレ	ツレ	ヌレ	フレ

ほめむ	ほむ	ほむる	ほむれ
将譽	譽	譽	譽
きむ	きむ	きゆむ	きゆれ
将消	消	消	消
かむ	かむ	かむ	かむれ
将枯	枯	枯	枯
うむ	うむ	うむ	うむれ
将植	植	植	植

ノ	ム	ム	ムレ
エ	ユ	ユル	ユレ
レ	ル	ル	ルレ
エ	ウル	ウル	ウルレ

本書活語の下小エウウルウレおどろく^るつげたるが即こまなり

第五 加行變格活用

こむ	きく	くる	くれ
将来	来	来	来

コ	キ	ク	クレ
---	---	---	----

本書活語の下小コキククルクレとあ^るつげたるが即こまなり

第六 佐行變格活用

せむ	す	する	すれ
将為	為	為	為

セ	シ	ス	スレ
---	---	---	----

本書活語の下小セシスススレとあ^るつげたるが即こまなり

第七 奈行變格活用

いなむ	いぬ	いぬる	いぬれ
将往	往	往	往

ナ	ニ	ヌ	ヌレ
---	---	---	----

本書活語の下小ナニヌヌレとあ^るつげたるが即こまなり

第八 良行四段一格活用

あらむ	あり	ある	あれ
将有	有	有	有

テ	リ	ル	レ
---	---	---	---

本書活語の下小テリルレとあ^るつげたるが即こまなり

作用言のうち第三中二段活用第四下二段活用第六佐行變格活用等ふりや^りへ^んと今と活用のたがひあり今といふハ俗言の活用なり

第三 中二段活用俗言格

おきむ	おきむ	おきむ	おきむ	おきむ	おきむ	おきむ	おきむ	おきむ	おきむ
おきむ	おきむ	おきむ	おきむ	おきむ	おきむ	おきむ	おきむ	おきむ	おきむ
おきむ	おきむ	おきむ	おきむ	おきむ	おきむ	おきむ	おきむ	おきむ	おきむ
おきむ	おきむ	おきむ	おきむ	おきむ	おきむ	おきむ	おきむ	おきむ	おきむ

キ	ク	ケ	コ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ
キ	ク	ケ	コ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ
キ	ク	ケ	コ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ
キ	ク	ケ	コ	カ	キ	ク	ケ	コ	カ

本書活語の下ふキクキレ

圖面ふおきおくをひら假字りてあるせむりゆへ今もかゝるがやう

第四 下二段活用俗言格

えむ	えむ	えむ	えむ	えむ	えむ	えむ	えむ	えむ	えむ
えむ	えむ	えむ	えむ	えむ	えむ	えむ	えむ	えむ	えむ
えむ	えむ	えむ	えむ	えむ	えむ	えむ	えむ	えむ	えむ
えむ	えむ	えむ	えむ	えむ	えむ	えむ	えむ	えむ	えむ

エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	エ	レ	エ
エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	エ	レ	エ
エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	エ	レ	エ
エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	エ	レ	エ

本書活語の下ふエウエルエれなるるたるが即こまきなり

第六 佐行變格活用俗言格

あん(シ)え(ト)え(ナ)え(ル)え(ジ)え(レ)
將案 案 案 案 案

ジ|ジ|ズ|ジ|ル|ジ|レ|

本書活語の下ふジジズジレとあるるたるが即こまきなり
こまきゆでの八種を作用言といふ次はあなる二種を形状言といふ

第九 クシキ活用

あき(ク) あき(シ) あき(キ)
浅 浅 浅

ク|シ|キ|

本書活語の下ふクシキとあるるたるが即こまきなり

第十 シクシシキ活用

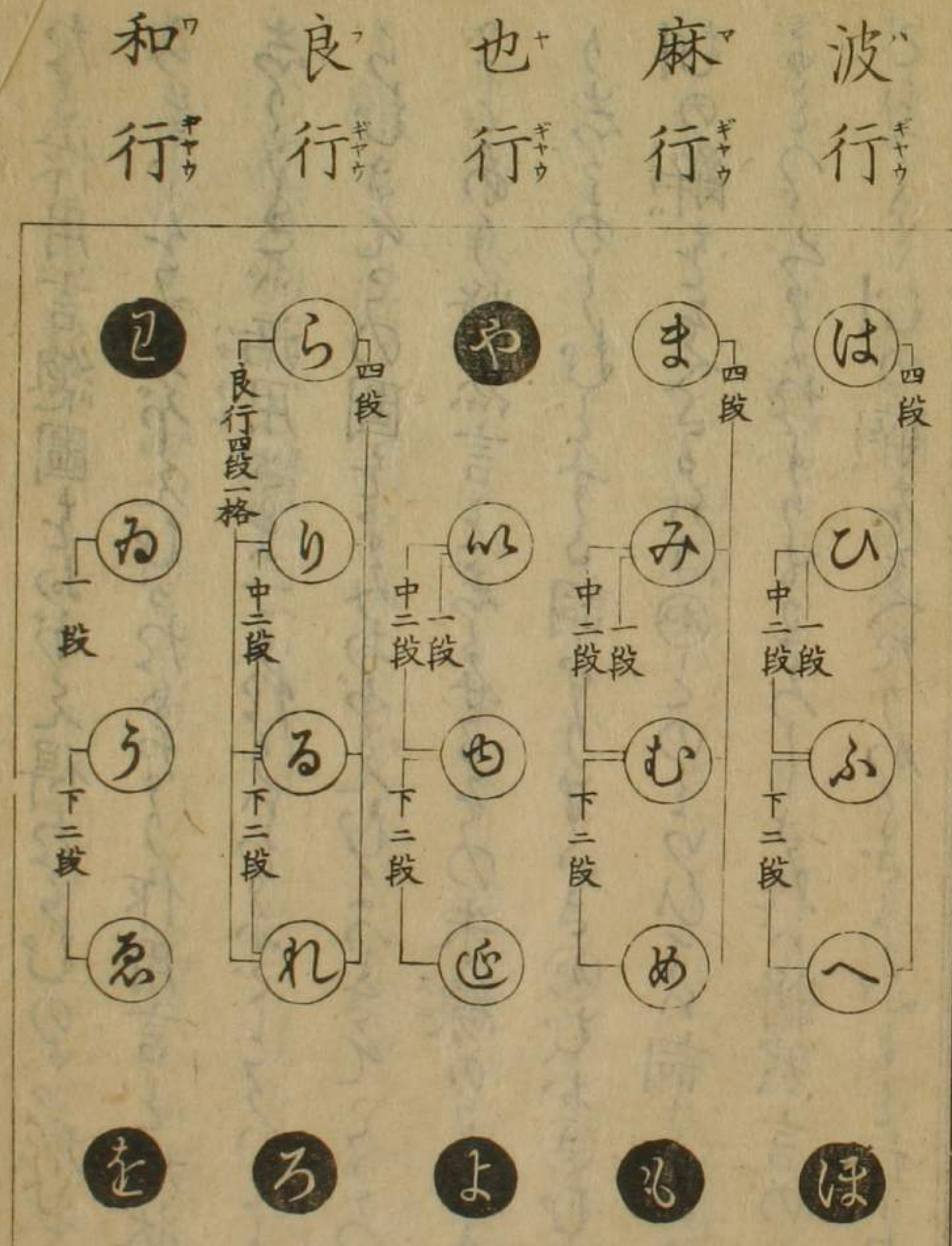
こひ(シ) こひ(シ) こひ(キ)
應 應 應

シ|ク|シ|シ|キ|

本書活語の下ふシクシシキとあるるたるが即こまきなり
如此片假字もてあるるつとてその詞ごりの活用をあらしむ
されど初學の徒はうち見てのこまきさうがたをさなれば
まづ(か)き(く)け(さ)し(せ)と順序をよみおがゆべなり
こまきをよみおがえむたはよ作用言總圖をあらわして次
小示す 皇國言の活用ハ五十連音ふれのぐくらかをへるりのをれを
作用言の所生をもあらせむして作用言總圖となぐく
この圖をとりよみおがゆべよまらふひてさくいさ(か)む(さ)
(き)さ(く)さ(け)とをたらして加行四段の活用なることあら
まおす(ハ)お(さ)む(お)し(お)す(お)せ(と)をたらして佐行四段の
活用なることあきらかなあらるるなり

作用言總圖

白字を以て活用する
と云ふなり



次ツキに活語指掌圖をあらはして示すそのゆゑの上カミにあらが
 たる作用言總圖をおげえ得たらむものも形状言のあ
 らざりしをもおげえむがためなり作用言と形状言とを
 ちりちりハタラクキ活用法ハタラクキをよみおげえむよつきてこころをさ
 らむはさてこの圖をよみおげえむよつきてこころをさ
 ことあり將然言とあるせるその朱線スズメのしるしをさ
 りたるものもむしよする詞なりしむしよさかむおさむとやうお
 むの辭イラハをそへたるはさかとのしるしをさかむおさむとやうお
 よもつくるなれりもさるるしされば將然言のうきつり
 ことしるしむの辭イラハをそへたりかぐさふよとせらむし得た

ねのつらら將然言の意もよめくあらまをんとおげえれ
 ばどらら次は連用言とりの用言より用言へつづく詞あり
 こころをさるるむしよの詞よりやういさキよわいおしやんとその詞
 こころをさるるむしよをよみつげてもあらむしよは終止言と
 りの語意こころをさるるなり連體言とりの用言よ
 り體言おはれど詞なるがあらまわりのありこの詞よりやういさ
 さキ花おす車と體言へりひつづくをらむその詞こころを
 ちりちりなれりもむしよのむしよははらばし已然言といふ
 ことしるしよあらむらるることしるし詞あり花こころをさキ車を
 こころをさキとひ又花さキば車とおせばなどの類なりし

花さ^(け)車をおせ^(せ)と^(り)ん^(び)希求言使令言とわりて又其意異^(ま)を^(と)
こ^(も)を^(ま)を^(ま)ひ^(ま)ひ^(ま)を^(ま)を^(ま)か^(り)り^(り)て^(ま)を^(ま)を^(ま)を^(ま)を^(ま)を^(ま)を^(ま)を^(ま)を^(ま)を^(ま)を^(ま)
將然言連用言終止言連體言已然言を詞の五階と名
づ^(つ)き^(き)そ^(そ)の^(の)五階と四段活用^(し)て^(い)終止と連體とをか
ね^(ね)く^(く)圖す一段活用中二段活用^(し)て^(い)終止と連體とをか
と連用^(と)とをか^(ね)て^(い)圖す^(こ)も^(の)見^(え)や^(る)か^(ら)い^(の)ゆ^(い)が^(た)め^(に)如^(か)此
良行四段一格^(れ)の^(ち)より^(り)連體と終止^(と)をか^(ね)て^(い)な^(り)
畧圖^(れ)せ^(る)あ^(ら)あ^(ら)
む^(む)と^(と)あ^(あ)ら^(ら)ー

活語指掌圖

將然言

連用言

終止言 連體言

已然言

朱線のふらふらなるところは二階
か^(か)ら^(ら)い^(い)の^(の)ゆ^(ゆ)い^(い)が^(が)た^(た)め^(め)に^(に)

第三段	第二段	第一段	第四段
起落戀恨老下	居射見干似著	降住逢立押咲	
りひみひちき むむむむむ	ぬひみひにき むむむむむ	らまたたさか むむむむむ	
いづ つづ かむむ かまろ かまろ	かろ かろ かろ かろ かろ	き し ち み り	に は り
るむむふつく		くまみいや るるるる	は
るるるるる るるるるる るるるるる るるるるる	るるるるる るるるるる るるるるる るるるるる	るるるるる るるるるる るるるるる るるるるる	
人 ^に 身 ^に 事 ^に 人 ^に 業 ^に 人 ^に	人 ^に 箭 ^に 書 ^に 麥 ^に 人 ^に 衣 ^に	雨 ^に 家 ^に 人 ^に 人 ^に 車 ^に 花 ^に	
るれ るれ るれ るれ るれ	るれ るれ るれ るれ るれ	るれ るれ るれ るれ るれ	け て へ め れ

第十第	第九第	これより八種を作用言とらふ これより二種を形状言とらふ	第八第	第七第
格一段四行良	格一段四行良		格一段四行良	格一段四行良
悲戀	深淺		居有	死往
㇀ あり	㇀ あふ		㇀ む	㇀ む
㇁	㇁		㇂ つゝ	㇂ む
㇃ 事	㇃ 心		㇄ 人	㇄ 命
㇅ 別	㇅ 別	別記 ねのこゝろ	㇆ れ	㇆ ね

第六第	第五第	第四第	第三第
格變行佐	格變行加	段二下	
聖為	來	植枯消譽添寢捨瘦受得	
㇀ む	㇀ む	㇀ む	㇀ む
㇁ む	㇁ む	㇁ む	㇁ む
㇂ む	㇂ む	㇂ む	㇂ む
㇃ む	㇃ む	㇃ む	㇃ む
㇄ む	㇄ む	㇄ む	㇄ む
㇅ む	㇅ む	㇅ む	㇅ む
㇆ む	㇆ む	㇆ む	㇆ む
㇇ む	㇇ む	㇇ む	㇇ む
㇈ む	㇈ む	㇈ む	㇈ む
㇉ む	㇉ む	㇉ む	㇉ む
㇊ む	㇊ む	㇊ む	㇊ む
㇋ む	㇋ む	㇋ む	㇋ む
㇌ む	㇌ む	㇌ む	㇌ む
㇍ む	㇍ む	㇍ む	㇍ む
㇎ む	㇎ む	㇎ む	㇎ む
㇏ む	㇏ む	㇏ む	㇏ む
㇐ む	㇐ む	㇐ む	㇐ む
㇑ む	㇑ む	㇑ む	㇑ む
㇒ む	㇒ む	㇒ む	㇒ む
㇓ む	㇓ む	㇓ む	㇓ む
㇔ む	㇔ む	㇔ む	㇔ む
㇕ む	㇕ む	㇕ む	㇕ む
㇖ む	㇖ む	㇖ む	㇖ む
㇗ む	㇗ む	㇗ む	㇗ む
㇘ む	㇘ む	㇘ む	㇘ む
㇙ む	㇙ む	㇙ む	㇙ む
㇚ む	㇚ む	㇚ む	㇚ む
㇛ む	㇛ む	㇛ む	㇛ む
㇜ む	㇜ む	㇜ む	㇜ む
㇝ む	㇝ む	㇝ む	㇝ む
㇞ む	㇞ む	㇞ む	㇞ む
㇟ む	㇟ む	㇟ む	㇟ む
㇠ む	㇠ む	㇠ む	㇠ む
㇡ む	㇡ む	㇡ む	㇡ む
㇢ む	㇢ む	㇢ む	㇢ む
㇣ む	㇣ む	㇣ む	㇣ む
㇤ む	㇤ む	㇤ む	㇤ む
㇥ む	㇥ む	㇥ む	㇥ む
㇦ む	㇦ む	㇦ む	㇦ む
㇧ む	㇧ む	㇧ む	㇧ む
㇨ む	㇨ む	㇨ む	㇨ む
㇩ む	㇩ む	㇩ む	㇩ む
㇪ む	㇪ む	㇪ む	㇪ む
㇫ む	㇫ む	㇫ む	㇫ む
㇬ む	㇬ む	㇬ む	㇬ む
㇭ む	㇭ む	㇭ む	㇭ む
㇮ む	㇮ む	㇮ む	㇮ む
㇯ む	㇯ む	㇯ む	㇯ む
ㇰ む	ㇰ む	ㇰ む	ㇰ む
ㇱ む	ㇱ む	ㇱ む	ㇱ む
ㇲ む	ㇲ む	ㇲ む	ㇲ む
ㇳ む	ㇳ む	ㇳ む	ㇳ む
ㇴ む	ㇴ む	ㇴ む	ㇴ む
ㇵ む	ㇵ む	ㇵ む	ㇵ む
ㇶ む	ㇶ む	ㇶ む	ㇶ む
ㇷ む	ㇷ む	ㇷ む	ㇷ む
ㇸ む	ㇸ む	ㇸ む	ㇸ む
ㇹ む	ㇹ む	ㇹ む	ㇹ む
ㇺ む	ㇺ む	ㇺ む	ㇺ む
ㇻ む	ㇻ む	ㇻ む	ㇻ む
ㇼ む	ㇼ む	ㇼ む	ㇼ む
ㇽ む	ㇽ む	ㇽ む	ㇽ む
ㇾ む	ㇾ む	ㇾ む	ㇾ む
ㇿ む	ㇿ む	ㇿ む	ㇿ む

上は擧たる指掌圖をよくよとらちとひむつねて其俗意
 をとらるゝすゝめかよ心得がうさるあうて十種活用は
 わゞく俗意をあて童蒙のわざとす但一連體言の
 結詞 ハスビコトバ 結辭との係辭をむまぶとれの名なりされとものこと今こよ
 ささぎずれつゝあて圖面の俗意をあらを要とわりよへい小われ
 るものゝ俗解せりさういさく花おす車おとりのひつゝる
 類のいよへも今もかゝることかじく別は俗解よとるも
 あゝささぎずれつゝあて
 又こよ心うささく終止言をかり小輕と記を示す連體言の
 重と記はつて示すその四段活用一段活用終止と連體とを
 かゆる圖せれば早く見らむゝめわりよく讀て味あるべし

加行四段 佐行四段 多行四段

<p>將然さ(か)む サカウ <small>わかやまふらも茶小 なつこぢやんと一兩日 のうち小花サカウ</small></p>	<p>連用さ(き)はるふ <small>今日の花がさかりぢや 大まうさ(き)はるふ</small></p>	<p>終止さ(く) サキマス <small>輕風はさむの花ハ サキマス 重あつてうらうら 花があま何のやう 小サクワイ</small></p>	<p>已然さ(け) サイタガマア <small>きのふこゝと花ハサイ タガマア</small></p>
<p>將然お(き)む オウウ <small>この車ハたつさうやむ い車サキマスとてう たうとオウウ</small></p>	<p>連用お(し)やる <small>わのい車とみもまぢや やりのことでお やリマス</small></p>	<p>終止お(せ) オシタガマア <small>輕道がらうらうら車ハ オシマス 重ありの車サガあれ あのやうふオスワイ</small></p>	<p>已然お(せ) オシタガマア <small>ようとてこの重の車 をオシタガマア</small></p>
<p>將然た(た)む タウウ <small>か風吹てふりのを 見て居らるゝを サアくとやうタウウ</small></p>	<p>連用た(ち)くる <small>何事の出来たらん あの人ハ見物をあ けてた(ち)くる</small></p>	<p>終止た(つ) タチマス <small>輕物をとて居られ かいとてハタチマス 重見たるハ飽つげ たらこのやうハ タウワイ</small></p>	<p>已然た(て) タタガマア <small>其場をこゝとありと をあららるゝタタガ マア</small></p>

語彙

段四行波 段四行麻 段四行良

<p>將然 あはむアウ</p> <p>このゆきあふあふい こしもあふアウ 明日茶屋ア ウ</p>	<p>連用 あひみる</p> <p>どうもあひみる とて思ふア今日 うもあひみる ス</p>	<p>終止 あふ</p> <p>アヒマス アフワイ</p>	<p>終止 あへ</p> <p>アフガマア</p>
<p>將然 まむスウ</p> <p>このゆきあふあふい 家ゆい永く居る氣 いなりがアアチヨツと スウ</p>	<p>連用 むみる</p> <p>住まざるだこの 家小住で居るけ わりなまむす てマス</p>	<p>終止 むむ</p> <p>スミマス スムワイ</p>	<p>終止 むめ</p> <p>スダガマア</p>
<p>將然 ふらむフウ</p> <p>たのさう雲が 来たチヤアア大雨 フウ</p>	<p>連用 ふりくる</p> <p>まつらふ小あつて大 雨がふりくる マス</p>	<p>終止 ふる</p> <p>フリマス フルワイ</p>	<p>終止 ふれ</p> <p>フツガマア</p>

段一行加 段一行奈 段一行波

<p>將然 きむ</p> <p>秋風がたつたのらう しくなつたチヤ裕を ウ</p>	<p>連用 きならむ</p> <p>あつた衣服を むりてきむ一両日 なす</p>	<p>終止 きむ</p> <p>キルワイ</p>	<p>終止 きれ</p> <p>キタガマア</p>
<p>將然 むむ</p> <p>先生のねむむしを見 らうたら後あつて ウ</p>	<p>連用 むむ</p> <p>先生のありを見 居る故に講釋のあり ウ</p>	<p>終止 むむ</p> <p>ニルワイ</p>	<p>終止 むれ</p> <p>ニタガマア</p>
<p>將然 ひむ</p> <p>大さうい天氣チヤ よりなつたほりの ヤウ</p>	<p>連用 ひむ</p> <p>大さうい天氣チヤ よりなつたほりの ヤウ</p>	<p>終止 ひむ</p> <p>ヒルワイ</p>	<p>終止 ひれ</p> <p>ヒタガマア</p>

麻一行一段 也一行一段 和一行一段

<p>將然 (み) ① ヤウ</p> <p>連用 (み) あきらむる</p> <p>書夜つゝあてふんご故らむつ かゝい書なきとをわらふらち④ あきらあマス</p>	<p>終止 (み) ①</p> <p>連体 (み) ①</p> <p>輕 今日ひまぢヤホよつゝ 書をこまマス 重 此書はわらふらちの書ぢヤ かちこまこのやう小イルワイ</p>	<p>終止 (み) ①</p> <p>連体 (み) ①</p> <p>輕 下手でいあぢ天気の的 なぢらマス 重 達者いかなればかけ鳥 もこまこのやうイルワイ</p>	<p>終止 (み) ①</p> <p>連体 (み) ①</p> <p>輕 今日ひまぢヤホよつゝ 書をこまマス 重 此書はわらふらちの書ぢヤ かちこまこのやう小イルワイ</p>	<p>終止 (み) ①</p> <p>連体 (み) ①</p> <p>輕 今日ひまぢヤホよつゝ 書をこまマス 重 此書はわらふらちの書ぢヤ かちこまこのやう小イルワイ</p>	<p>終止 (み) ①</p> <p>連体 (み) ①</p> <p>輕 今日ひまぢヤホよつゝ 書をこまマス 重 此書はわらふらちの書ぢヤ かちこまこのやう小イルワイ</p>
<p>將然 (み) ① ヤウ</p> <p>連用 (み) あきらむる</p> <p>書夜つゝあてふんご故らむつ かゝい書なきとをわらふらち④ あきらあマス</p>	<p>終止 (み) ①</p> <p>連体 (み) ①</p> <p>輕 今日ひまぢヤホよつゝ 書をこまマス 重 此書はわらふらちの書ぢヤ かちこまこのやう小イルワイ</p>	<p>終止 (み) ①</p> <p>連体 (み) ①</p> <p>輕 下手でいあぢ天気の的 なぢらマス 重 達者いかなればかけ鳥 もこまこのやうイルワイ</p>	<p>終止 (み) ①</p> <p>連体 (み) ①</p> <p>輕 今日ひまぢヤホよつゝ 書をこまマス 重 此書はわらふらちの書ぢヤ かちこまこのやう小イルワイ</p>	<p>終止 (み) ①</p> <p>連体 (み) ①</p> <p>輕 今日ひまぢヤホよつゝ 書をこまマス 重 此書はわらふらちの書ぢヤ かちこまこのやう小イルワイ</p>	<p>終止 (み) ①</p> <p>連体 (み) ①</p> <p>輕 今日ひまぢヤホよつゝ 書をこまマス 重 此書はわらふらちの書ぢヤ かちこまこのやう小イルワイ</p>

加一行二段 多一行二段 波一行二段

<p>將然 (み) ① ヤウ</p> <p>連用 (み) あきらむる</p> <p>書夜つゝあてふんご故らむつ かゝい書なきとをわらふらち④ あきらあマス</p>	<p>終止 (み) ①</p> <p>連体 (み) ①</p> <p>輕 今日ひまぢヤホよつゝ 書をこまマス 重 此書はわらふらちの書ぢヤ かちこまこのやう小イルワイ</p>	<p>終止 (み) ①</p> <p>連体 (み) ①</p> <p>輕 下手でいあぢ天気の的 なぢらマス 重 達者いかなればかけ鳥 もこまこのやうイルワイ</p>	<p>終止 (み) ①</p> <p>連体 (み) ①</p> <p>輕 今日ひまぢヤホよつゝ 書をこまマス 重 此書はわらふらちの書ぢヤ かちこまこのやう小イルワイ</p>	<p>終止 (み) ①</p> <p>連体 (み) ①</p> <p>輕 今日ひまぢヤホよつゝ 書をこまマス 重 此書はわらふらちの書ぢヤ かちこまこのやう小イルワイ</p>	<p>終止 (み) ①</p> <p>連体 (み) ①</p> <p>輕 今日ひまぢヤホよつゝ 書をこまマス 重 此書はわらふらちの書ぢヤ かちこまこのやう小イルワイ</p>
<p>將然 (み) ① ヤウ</p> <p>連用 (み) あきらむる</p> <p>書夜つゝあてふんご故らむつ かゝい書なきとをわらふらち④ あきらあマス</p>	<p>終止 (み) ①</p> <p>連体 (み) ①</p> <p>輕 今日ひまぢヤホよつゝ 書をこまマス 重 此書はわらふらちの書ぢヤ かちこまこのやう小イルワイ</p>	<p>終止 (み) ①</p> <p>連体 (み) ①</p> <p>輕 下手でいあぢ天気の的 なぢらマス 重 達者いかなればかけ鳥 もこまこのやうイルワイ</p>	<p>終止 (み) ①</p> <p>連体 (み) ①</p> <p>輕 今日ひまぢヤホよつゝ 書をこまマス 重 此書はわらふらちの書ぢヤ かちこまこのやう小イルワイ</p>	<p>終止 (み) ①</p> <p>連体 (み) ①</p> <p>輕 今日ひまぢヤホよつゝ 書をこまマス 重 此書はわらふらちの書ぢヤ かちこまこのやう小イルワイ</p>	<p>終止 (み) ①</p> <p>連体 (み) ①</p> <p>輕 今日ひまぢヤホよつゝ 書をこまマス 重 此書はわらふらちの書ぢヤ かちこまこのやう小イルワイ</p>

五言古五言

段二中行良 段二中行也 段二中行麻

<p>將然 (ら) (み) (む) ウラ (ら) ヤウ</p> <p>かうめがくわさるるをみ ひき居てらるるわらめく ウラ (ら) ヤウ</p> <p>連用 (ら) (み) わりめ</p> <p>夫の心が薄情ナヤと みえて女房が毎日々々 ウラ (ら) ちひマヌ</p>	<p>終止 (ら) (む) ウラ (ら) マヌ</p> <p>ららむわらむららむ ららむららむららむ ららむららむららむ</p> <p>連体 (ら) (む) ウラ (ら) マヌ</p> <p>あめがく不實や ららむららむららむ やうふウラミルワイ</p> <p>已然 (ら) (む) ウラ (ら) マヌ</p> <p>とまもてまもてらるる ららむららむららむ ダガマア</p>	<p>將然 (ら) (い) (ひ) オイ ヤウ</p> <p>このやうな物に心配 たふ顔かまらぬ オイ ヤウ</p> <p>連用 (ら) (い) (ひ) かまらぬ</p> <p>ついで男でわつたねの 年がよつて腰が二重 お (ら) かまらぬ</p>	<p>終止 (ら) (い) (ひ) オイ マヌ</p> <p>年がよつたのいしめ やういかりのオイマヌ</p> <p>連体 (ら) (い) (ひ) オイ マヌ</p> <p>年がよつたあめ か物ヂヤあきあの やういオイルワイ</p> <p>已然 (ら) (い) (ひ) オイ マヌ</p> <p>あまう心配あつた つてこの両三年オイ タガマア</p>	<p>將然 (ら) (り) (む) オイ ヤウ</p> <p>さむい風がふくゆる 二階からオ (ら) ヤウ</p> <p>連用 (ら) (り) (む) ちゆ</p> <p>二階のいやチヤ い下 (ら) のめたマヌ</p>	<p>終止 (ら) (り) (む) オリ マヌ</p> <p>只今二階の御用が と次第をまへオリマ ヌ</p> <p>連体 (ら) (り) (む) オリ マヌ</p> <p>二階の萬事不自由 ヂヤとみえくあれ あのやうふと オリルワイ</p> <p>已然 (ら) (り) (む) オリ マヌ</p> <p>二階のいやチヤ のこをこ下まで オリタガマア</p>
--	--	--	---	--	---

段二下行阿 段二下行加 段二下行佐

<p>將然 (ら) (え) (む) オイ ヤウ</p> <p>今年の高法とよ しとたきさん利を オイ ヤウ</p> <p>連用 (ら) (え) (む) ちゆ</p> <p>高法をよ 今年正月から利を とまめマヌ</p>	<p>終止 (ら) (え) (む) エマヌ</p> <p>高法がよのら利を エマヌ</p> <p>連体 (ら) (え) (む) エルワイ</p> <p>高法がよのら利を くのやう小利をエル ワイ</p> <p>已然 (ら) (え) (む) エタガマア</p> <p>高法がよのら利を 大利をエタガマア</p>	<p>將然 (ら) (け) (む) ウケ ヤウ</p> <p>金銀でいれが かい品物をら ヤウ</p> <p>連用 (ら) (け) (む) ちゆ</p> <p>代料をら 品物ヂヤふら らマヌ</p>	<p>終止 (ら) (け) (む) ウケ マヌ</p> <p>品物ヂヤからウケマヌ</p> <p>連体 (ら) (け) (む) ウケルワイ</p> <p>誠よあが御心 ぎーチヤとら やうふウケルワイ</p> <p>已然 (ら) (け) (む) ウケタガマア</p> <p>品物ヂヤからウケ キドクあがらウケ タガマア</p>	<p>將然 (ら) (せ) (む) ヤセ ヤウ</p> <p>しつりのせチヤから 夏ふあせ ヤセ ヤウ</p> <p>連用 (ら) (せ) (む) ちゆ</p> <p>夏ふあせ まらふら あこらへマヌ</p>	<p>終止 (ら) (せ) (む) ヤセ マヌ</p> <p>夏ふあせのら くせとヤセマヌ</p> <p>連体 (ら) (せ) (む) ヤセルワイ</p> <p>くせチヤふら かなとら ふヤセルワイ</p> <p>已然 (ら) (せ) (む) ヤセタガマア</p> <p>夏ふあせのら くせとら マア</p>
---	--	---	--	--	--

吾輩古語皆手

和行下二段	加行變格	佐行
<p>將然 ㊶ ㊷ ㊸ ㊹</p> <p>早苗が大きなふひひ きよ二兩目のふひひ う②ヤウ</p> <p>連用 ㊺ ㊻ ㊼ ㊽</p> <p>早苗が大きなふひひ きよ二兩目のふひひ う②ヤウ</p>	<p>將然 ㊾ ㊿ ㋀ ㋁</p> <p>道の人の何れ このちよふあそ のチヤさう 今②ヤウ</p> <p>連用 ㋂ ㋃ ㋄ ㋅</p> <p>道の人の何れ このちよふあそ のチヤさう 今②ヤウ</p>	<p>將然 ㋆ ㋇ ㋈ ㋉</p> <p>運の目もあつた あつたあつた 一生のあつた ②ヤウ</p> <p>連用 ㋊ ㋋ ㋌ ㋍</p> <p>運の目もあつた あつたあつた 一生のあつた ②ヤウ</p>
<p>終止 ㋎ ㋏ ㋐ ㋑</p> <p>出たあつたあつた から我が家 う②キマス</p> <p>終止 ㋒ ㋓ ㋔ ㋕</p> <p>出たあつたあつた から我が家 う②キマス</p>	<p>終止 ㋖ ㋗ ㋘ ㋙</p> <p>我が家 う②キマス</p> <p>終止 ㋚ ㋛ ㋜ ㋝</p> <p>我が家 う②キマス</p>	<p>終止 ㋞ ㋟ ㋠ ㋡</p> <p>我が家 う②キマス</p> <p>終止 ㋢ ㋣ ㋤ ㋥</p> <p>我が家 う②キマス</p>
<p>連体 ㋦ ㋧ ㋨ ㋩</p> <p>水が十分に行 かぬあつたあつた あつたあつたあつた ルワイ</p> <p>連体 ㋪ ㋫ ㋬ ㋭</p> <p>水が十分に行 かぬあつたあつた あつたあつたあつた ルワイ</p>	<p>連体 ㋮ ㋯ ㋰ ㋱</p> <p>水が十分に行 かぬあつたあつた あつたあつたあつた ルワイ</p> <p>連体 ㋲ ㋳ ㋴ ㋵</p> <p>水が十分に行 かぬあつたあつた あつたあつたあつた ルワイ</p>	<p>連体 ㋶ ㋷ ㋸ ㋹</p> <p>水が十分に行 かぬあつたあつた あつたあつたあつた ルワイ</p> <p>連体 ㋺ ㋻ ㋼ ㋽</p> <p>水が十分に行 かぬあつたあつた あつたあつたあつた ルワイ</p>
<p>已然 ㋾ ㋿ ㌀ ㌁</p> <p>上手の早少女 ことこの田 タガマア</p> <p>已然 ㌂ ㌃ ㌄ ㌅</p> <p>上手の早少女 ことこの田 タガマア</p>	<p>已然 ㌆ ㌇ ㌈ ㌉</p> <p>上手の早少女 ことこの田 タガマア</p> <p>已然 ㌊ ㌋ ㌌ ㌍</p> <p>上手の早少女 ことこの田 タガマア</p>	<p>已然 ㌎ ㌏ ㌐ ㌑</p> <p>上手の早少女 ことこの田 タガマア</p> <p>已然 ㌒ ㌓ ㌔ ㌕</p> <p>上手の早少女 ことこの田 タガマア</p>

奈行變格	變格	變格
<p>將然 ㊶ ㊷ ㊸ ㊹</p> <p>吐下がよ病 あつたあつたあつた あつたあつたあつた シ①ウ</p> <p>連用 ㊺ ㊻ ㊼ ㊽</p> <p>吐下がよ病 あつたあつたあつた あつたあつたあつた シ①ウ</p>	<p>將然 ㊾ ㊿ ㋀ ㋁</p> <p>御ちよふあつた てたの日敷 つりあつたあつた あつたあつたあつた ハ④ウ</p> <p>連用 ㋂ ㋃ ㋄ ㋅</p> <p>御ちよふあつた てたの日敷 つりあつたあつた あつたあつたあつた ハ④ウ</p>	<p>將然 ㋆ ㋇ ㋈ ㋉</p> <p>御ちよふあつた てたの日敷 つりあつたあつた あつたあつたあつた ハ④ウ</p> <p>連用 ㋊ ㋋ ㋌ ㋍</p> <p>御ちよふあつた てたの日敷 つりあつたあつた あつたあつたあつた ハ④ウ</p>
<p>終止 ㋎ ㋏ ㋐ ㋑</p> <p>我が家 う②キマス</p> <p>終止 ㋒ ㋓ ㋔ ㋕</p> <p>我が家 う②キマス</p>	<p>終止 ㋖ ㋗ ㋘ ㋙</p> <p>我が家 う②キマス</p> <p>終止 ㋚ ㋛ ㋜ ㋝</p> <p>我が家 う②キマス</p>	<p>終止 ㋞ ㋟ ㋠ ㋡</p> <p>我が家 う②キマス</p> <p>終止 ㋢ ㋣ ㋤ ㋥</p> <p>我が家 う②キマス</p>
<p>連体 ㋦ ㋧ ㋨ ㋩</p> <p>水が十分に行 かぬあつたあつた あつたあつたあつた ルワイ</p> <p>連体 ㋪ ㋫ ㋬ ㋭</p> <p>水が十分に行 かぬあつたあつた あつたあつたあつた ルワイ</p>	<p>連体 ㋮ ㋯ ㋰ ㋱</p> <p>水が十分に行 かぬあつたあつた あつたあつたあつた ルワイ</p> <p>連体 ㋲ ㋳ ㋴ ㋵</p> <p>水が十分に行 かぬあつたあつた あつたあつたあつた ルワイ</p>	<p>連体 ㋶ ㋷ ㋸ ㋹</p> <p>水が十分に行 かぬあつたあつた あつたあつたあつた ルワイ</p> <p>連体 ㋺ ㋻ ㋼ ㋽</p> <p>水が十分に行 かぬあつたあつた あつたあつたあつた ルワイ</p>
<p>已然 ㋾ ㋿ ㌀ ㌁</p> <p>上手の早少女 ことこの田 タガマア</p> <p>已然 ㌂ ㌃ ㌄ ㌅</p> <p>上手の早少女 ことこの田 タガマア</p>	<p>已然 ㌆ ㌇ ㌈ ㌉</p> <p>上手の早少女 ことこの田 タガマア</p> <p>已然 ㌊ ㌋ ㌌ ㌍</p> <p>上手の早少女 ことこの田 タガマア</p>	<p>已然 ㌎ ㌏ ㌐ ㌑</p> <p>上手の早少女 ことこの田 タガマア</p> <p>已然 ㌒ ㌓ ㌔ ㌕</p> <p>上手の早少女 ことこの田 タガマア</p>

良行四段一格

將然ありむ アウウ 氣をりんでも別り よのこころいふいふが このまうをアウウ	連用ありつゝ あわれせうよくかふ あたらしくよい呀ふ わのつきマス	連体ありアルワイ つれづれの身分 ありたれいことチヤ 今も繁昌でこれの ゆうアルワイ	已然ありルガマア 運ぶよけまここと よいあありせもアツ タガマア
將然をりむ フウウ ごう小居てよのや 席うらめらあひマア あまうりくこたれフ ウ	連用をりまなまる 席がまやつたこと てれのきをのさた せりマス	連体をりアルワイ 御召のあまをり門 出れりさきまこと このゆうアルワイ	已然をりルガマア 御召があまをりこ こゆひさうツタ ガマア
終止あり アリマス 運のよい人のりもあ おのせうよくてアリ マス	終止ありアリマス 御召のあまをり こゆひさうツタ マス		

形状言俗解

くしき活用

連用ありおこり そつたも不實チヤ かひこねしむあま わのひマス	終止ありし アサイヤヤ ごう骨をりぬを とまひさきアサイ チヤ	連体ありき アサイワイ 車に成就せまの ろくアサイワイ ゆう小アサイワイ	已然ありけれ アサイガマア 氣がうつやまひれ くとあの人こころ ざりアサイガマア
連用ありたのむ あわれいふかき おのうもあまこ しあまのたのマス	終止ありし フカイヤヤ あわれいふ骨をり とまひさきアサイ チヤ	連体をりアルワイ 車に成就せまの ろくアサイワイ ゆう小アサイワイ	已然ありけれ フカイガマア うまをつねるま とあの人こころ ざりフカイガマア
連用ありあ 久うあつたあ ありマス	終止ありし コシイヤヤ 久うあつたあ イヤヤ	連体をりアルワイ 久うあつたあ こころのゆうコ シイワイ	已然ありけれ コシイガマア ありあつたあ こころのゆうコ シイガマア

用活き志

連用かな(1)ありふ
情おせられ涙うら
おせられしありふ
マス

終止かな(2)カシイギヤ
情おせられまいかナシ
イナヤ

連体かな(3)カシイワイ
情おせられだれらの
やうかナシイワイ

已然かな(4)カシイカマア
情おせられまいたそ
わ(1)いしらすカナ
シイカマア

形状言

くーき活用
あちき活用

の詞のあちー本書活語の條下、
シキシクシシキとある一たるの省畧せらるるクシキケレ
シクシシキシケレとつゞきなまじりもさるゝありこと
志げくならせりづらとけいもいふるを志が心得と
見らるる

○この書本書活語の條下みあるせる活用をたやましくと
しむとてかく圖おあらせりてれをうく何さらん
のち別記をいふべし別記をうくいふときしむる時ハ
詞の活用辭の運用との小あきらかに志らるるなり



明治十七年二月七日
翻刻御届
明治十七年二月
翻刻出版

東京府平民

翻刻人

柳河田鶴

日本橋區通三丁目十番地

發

開

成

堂

全區全町全番地

兌

中

外

堂

日本橋區本町二丁目十番地



